

バチスター水和剤 ダクト内投入の使い方

はじめに

バチスター水和剤は、バチルス スズブチリス菌を主成分とする微生物殺菌剤です。2010年10月13日に新規農薬登録され、野菜類の灰色かび病・うどんこ病に対する防除薬剤として広く利用されています。

2016年11月にダクト内投入によるトマト・ミニトマトの灰色かび病に対する農薬登録を取得いたしました。ダクト内投入とは、バチスター水和剤を粉末のまま、作物栽培用施設の暖房機の送風用ダクトの風を利用してハウス内全体に飛散・循環させ、対象病害に対して病原菌が侵入する前に葉上にバチルス スズブチリス菌を保護膜のように分布させ、病原菌が発芽するために必要な葉上の栄養分を吸収してしまうために病原菌が作物内に侵入できないという作用機作により効果を発揮します。毎日(約1ヶ月)継続することでバチルス スズブチリス菌がムラなく、ハウスの隅々まで行き渡り、作物を保護します。

ご利用の際にはラベルをよく読み、特に初めて利用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。



図1. バチスター水和剤の効果発現イメージ



写真1. バチスター水和剤 100g

適用病害虫および使用方法（ダクト内投入の部分のみ抜粋）

2016年12月現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バチルス スズブチリスを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	灰色かび病	15g/10a /日	発生前 ～ 発生初期	—	ダクト内投入	—

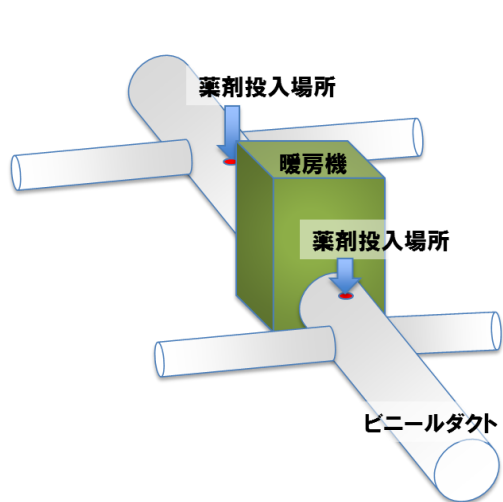


図 2. 薬剤の投入場所（例）

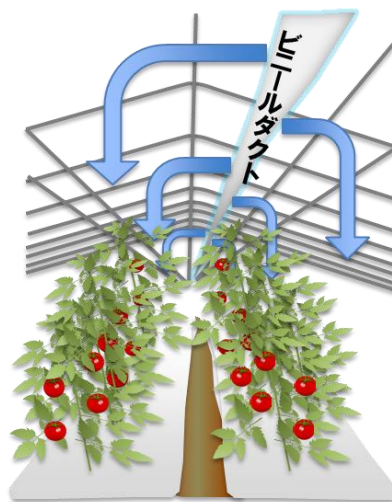


図 3. ハウス内への薬剤の分散イメージ

ダクト内投入に関する注意事項

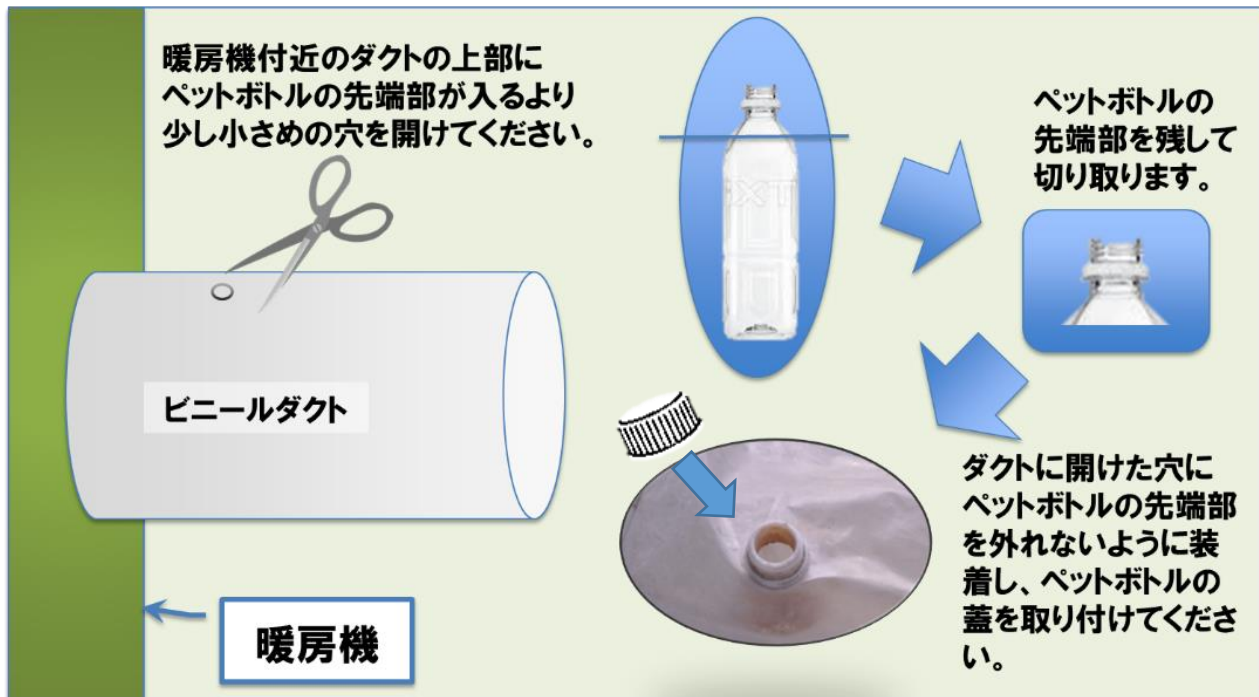
- ダクト内へ投入する場合は以下のことに注意してください。
 - ① 1ヶ月当たり 450g/10a になるよう、暖房機などのダクト取り付け口付近からダクト内に投入してください。
 - ② 暖房機などが数時間以上運転される条件下で使用してください。
- ダクトによる散布中はハウス内へ入らないようにしてください。また、ダクトによる散布終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- ダクトによる散布の際は、送風停止中に本剤をダクト内に投入してください。
- ダクトによる散布後にハウス内で作業する際は、送風機を作動させないでください。

その他 安全使用上の注意事項

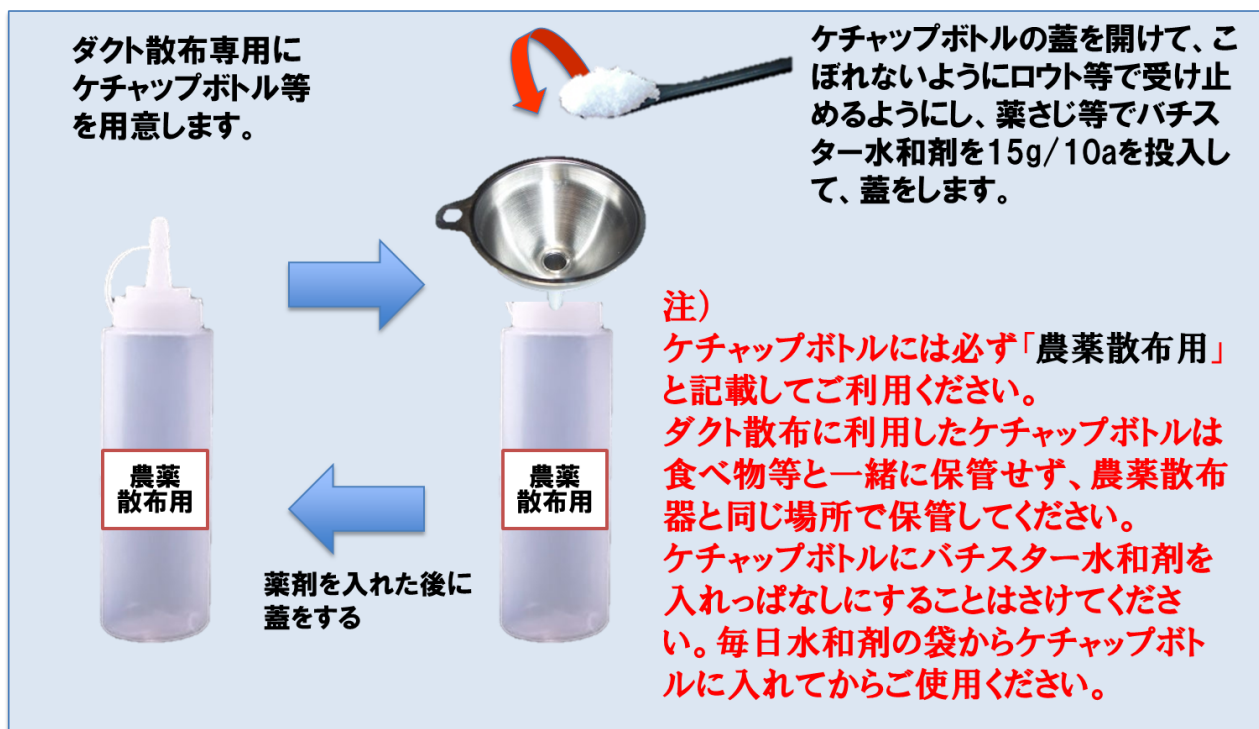
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- ダクトによる散布の際は、送風停止中に本剤をダクト内に投入してください。
- ダクトによる散布中はハウス内へ入らないでください。また、ダクトによる散布終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- ダクトによる散布後にハウス内で作業する際は、送風機を作動させないでください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

ダクト内投入の使い方（例）

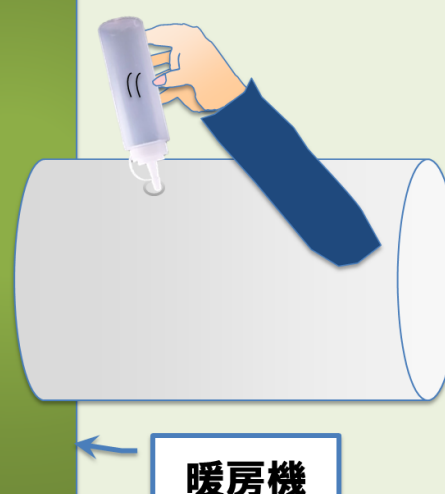
1. 事前準備



2. 薬剤の準備



3. ダクト内への薬剤の投入



1. ダクト送風機を止めてください。
2. ダクトに装着したペットボトルの蓋を開け、バチスター水和剤の入ったケチャップボトルを差し込み、ボトル部分を指で押し出すように水和剤をダクト内に投入してください。
3. 投入後にペットボトルの蓋をしてください。
4. ダクト送風機のスイッチを入れたら、速やかにハウスの外へ出てください。

注）他剤との混用散布はしないようにしてください。

注）初めて利用する場合、ダクト内の静電気でバチスター水和剤がダクト内に残る可能性があるため、1～2日間予備運転することをお勧めいたします。

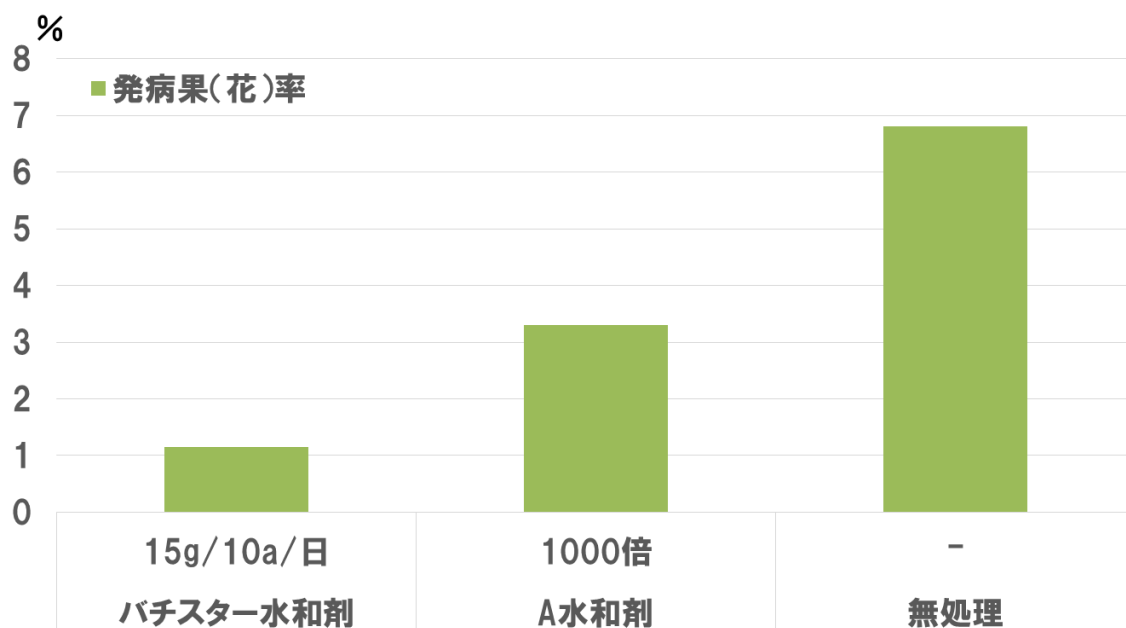
ダクトに直接投入する場合（例）

ケチャップボトル等を用いなくても直接ダクト内にバチスター水和剤を薬さじ等で投入することは可能です。こぼれないようにロウト等で受け止めるようにし、薬さじ等でバチスター水和剤を 15g/10a を投入して、ペットボトルの蓋をします。その際、必ず送風機を止めてから投入してください。



効果試験例

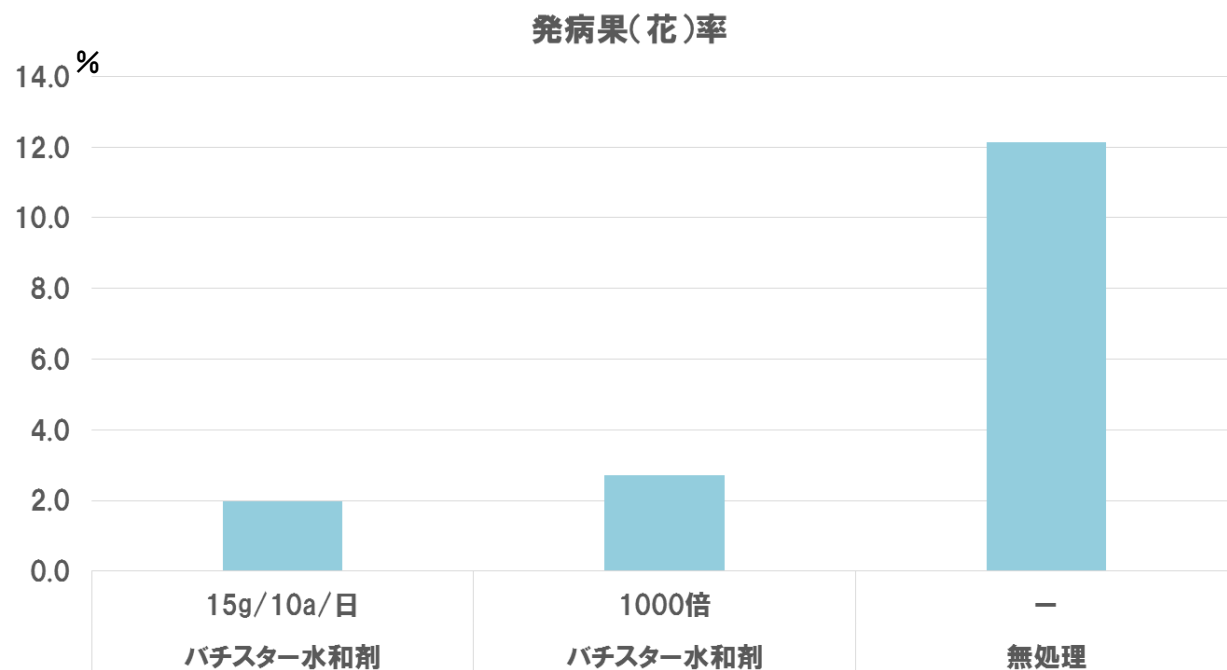
2014 年 油日アグロリサーチ試験事例



グラフ 1. バチスター水和剤のダクト内投入によるトマトの灰色かび病に対する効果試験 1

1 区当たり 30～50 果（花）をランダムに抽出し、6 回調査した累計数から発病果（花）率を算出した。

2015 年 油日アグロリサーチ試験事例



グラフ 2. バチスター水和剤のダクト内投入によるトマトの灰色かび病に対する効果試験 2

各区 10 株について果実および花の発病を調査し、累計により発病果(花)率を算出した。調査対象とした発病果(花)および収穫可能果実は調査日毎に除去した。防除価は発病果(花)率から算出した。